

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

一人一人の個性や能力を伸ばす 社会の変化に主体的に対応できる力を育む
心豊かでたくましい児童の育成
〈重点目標〉「気づき、考え、行動する子」、「自信としなやかな心をもつ子」

豊かな人間性

- ・自信と自己肯定感を育む
- ・ちがいを認め合い、高め合う友達づくり

健康・体力

- ・自分の健康は自分で守る
- ・運動に親しみ、丈夫な身体をつくる
- ・しなやかに対応する心を育む

資質・能力の育成

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ①[知・技]学習・体験したことを活かして学ぶことができる
- ②[思・判・表]その場の状況を把握し、課題解決に向かうことができる
- ③[学・人]主体的に考え、行動できる

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①学習・体験したことを、比較したり、関連付けたりして他の学習や生活に活かしている
- ②その場の状況について考え、判断し、課題解決しようとしている
- ③他者の考えや既習事項等をもとに自分の考えを再構成し、主体的に行動している

子供の実態
○素直、真面目
○課題への取り組み
☆主体性や気持ちの強さの向上
☆人にやさしい言動

子供の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導

- ・一人一人の子供の理解に努める
- ・職員会議や教育相談部会等を活かし、保護者、SC、心の教室相談員等と連携して、支援を行う
- ・教職員間で情報共有し、協働して支援に当たる

目指す子供の姿

- ・思いやりのある子
- ・進んで学ぶ子
- ・心身ともに健康な子
- ・進んで働く子

何を学ぶか
○教育課程の編成

- ①主体的、対話的な学び方を身に付ける（聴いて、考えて、つなげる）
- ②基礎学力を身に付ける
- ③各教科で身に付けた力を活かす
- ④家庭学習の習慣化を図る

どのように学ぶか
○教育課程の実施

- ①質の高い妙小スタンダードによる授業、対話的な場面を工夫した校内研修
- ②個に応じた支援の充実
- ③教科間や学年間のつながりを意識した活動
- ④授業とつながりのある自主学習、自主勉強ギャラリー等で啓発

実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 業務改善による子供と向き合う時間と教材研究の時間の確保
- 校内研修やミニ講座による指導力向上
- 家庭や地域人材、子供を支援する外部機関等との情報共有・協働

【安全・安心を守る】
○児童の危機予測や危機回避能力の育成
○教職員は子供たちの安全・安心を守る

【開かれた学校づくり】
○積極的な情報発信（HP等）
○学校評価や学校評議員会等の活用